

上智大学国文学会平成三十年度冬季大会開催のご案内

初冬の候、皆様にはご清祥のこととお察し申し上げます。

平成三十年度の冬季大会を左記の要領にて開催いたします。今回は研究発表に加えて、シンポジウムを開催いたします。

どうぞ奮ってご参集下さいますよう、ご案内申し上げます。

平成三十年十一月二十四日

上智大学国文学会会長

瀬間 正之

記

【日時】 平成三十一年一月十二日(土) 午後一時三十分～

【場所】 上智大学七号館十四階特別会議室

【第一部】研究発表(午後一時三十分～)

○芥川龍之介「玄鶴山房」論―「看護婦」「ゴム印」の同時代表象をめぐって―

上智大学大学院国文学専攻博士後期課程 木村 素子

○〈夢〉を視る《神経》―谷崎潤一郎「柳湯の事件」をめぐる考察

上智大学大学院国文学専攻博士後期課程 村山 麗

【第二部】シンポジウム(午後三時十五分～)

古典学と仏教学

パネリスト

○中世曹洞禅宗における伝説の秘伝化―「片岡山飢人説話」を中心に

サンヴィド マルタ(国際交流基金JEFフェロー)

駒澤大学禅研究所研究員・ヴェネチア大学博士課程後期)

○和歌文学と仏教―関係性の諸相―

山本 章博(大正大学准教授)

○アジア諸国の恋愛文学と仏教の関係

石井 公成(駒澤大学教授)

瀬間 正之(上智大学文学部教授)

趣旨説明及び上代の状況

【懇親会】(午後六時～)

【会場】 上智大学二号館五階教職員食堂 【会費】 四千円

*卒業生の集う機会として、懇親会からの出席も大歓迎です。

*大会参加のために出張依頼書が必要な方はその旨ご連絡下さい。折返しお送り申し上げます。

*準備の都合上、十二月二十日(木)までに出欠の返事をお送り願います。

*お名前・ご住所等変更のある方は、必ずお知らせ下さい。

上智大学国文学会 jouchikokubungakakai@yahoo.co.jp